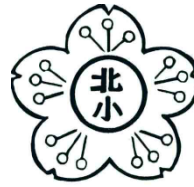


# 北小物語2018



平成30年 9月 3日  
平戸市立田平北小学校  
学校便りNo. (38)  
校長 曾川 和則

◇◇◇ 『いい顔』『いい声』『いい心』 たゆみなく流れて清き「わが田平北小」 ◇◇◇

学校教育目標：「進んで学び、心豊かで、心身ともにたくましい児童の育成をめざす」

☆☆☆ 第38話：第2学期始動！～ますます『いい顔』『いい声』『いい心』～！ の巻 ☆☆☆



藤本理稀ちゃんを発見したときの状況を説明する尾畠春夫さん  
—15日、山口県周防大島町

## 北小の第2学期 始動!

歴史的な猛暑・酷暑の夏も、ようやく幕を下ろしつつあります。「古今和歌集」にある藤原敏行の句「秋来ぬと 目にはさやかに見えねども 風の音にぞ おどろかれぬる」のごとく、時折吹き抜ける柔らかな風に秋の気配を感じる9月となりました。心地よい「長月」です。9月3日(月)、いよいよ平成30年度第2学期の始まりです。夏季休業中に新たな3名の仲間が加わり、全校児童231名となった田平北小学校。新学期の始まりにあたり、私は、この「夏」をふり振り返り、左に掲載の写真(写真提供：「長崎新聞 8/17」)を提示して、子どもたちに、こう呼びかけました。

北っ子の皆さん、人のために自分にできることをやれる人になりましょう!

これまでに経験したことのない暑さ、そして突然の豪雨・台風など自然の猛威と脅威に心を痛めることがあまりにも多すぎた今年の「夏」でしたが、その中でも、私たちは安心や喜び、そして感動を味わう場面に出会うことができました。その一つは、高校球児たちの熱い闘い「第100回夏の甲子園大会」です。秋田県代表「金足農業高校(通称：かなのう)」の全力プレーと快進撃。テレビの前に釘付けとなりました。特に勝利の後の「校歌斉唱」。胸を張り上げ、笑顔で声高らかに母校の歌を歌うナインの姿に大きな感動をもらいました。『人が直向きに全力で挑む姿は、こうも大きな感動を生み出すのか』改めて一生懸命に頑張り抜くことの大切さを感じました。この秋の小学校陸上競技大会につなげていきます。そして、もう一つは、8月15日の「奇跡(ミラクル)」。山口県で行方不明になっていた2歳の男の子が、生死の境目と言われる3日後に、一人の男性によって救出されました。2歳児のもの凄いの生命力もさることながら、その男性の生き方に日本全国が大きな感銘を受けました。男性の名は「尾畠 春夫(おばた はるお)」さん。78歳です。65歳の誕生日に長年営んできた「魚屋」をたたみ、その後の人生を「人のために尽くす=ボランティア」に捧げると宣言し、命懸けで実行している人物です。今日も、「平成30年7月豪雨」で被害を受けた広島県呉市の復興に力を尽くす尾畠さんは、テレビのインタビューの中で次のような言葉を語っています。

「自己完結するのが真のボランティアだ。」  
「学歴も何もない自分がここまでやってこられた。だから、これからは社会に恩返しをしたい。」  
『かけた情けは水に流せ、受けた恩は石に刻め』  
人の命は地球より重い。助かってよかった。」  
(78歳時点で将来の夢は、と聞かれたとき)  
「夜間の高校に行って勉強したい。」

様々なできごとがあった暑い「夏」でしたが、私たち人間は、「人から学ぶことで成長」していきます。この夏、出会った尾畠さんから、北っ子は学びます。

自分がいて、自分以外の人がある共生社会です。どんな小さなことでもいいのです。目に見える人のために、目には見えない誰かのために、考えて行動してみましょう。それがボランティアです。

北っ子のちょボラ(ちよこボランティア)、スタートします!



## 9月行事予定

日	曜	できごとなど
4	火	ふれあいタイム(縦割り掃除オリエンテーション)
7	金	新A.L.T(ソフィー先生)来校・授業
10	月	第2学期委員会活動スタート
11	火	縦割り給食・掃除 夏休み作品展開始
12	水	読み聞かせ 中学校職場体験開始
13	木	授業参観・学級懇談会・夏休み作品展
17	月	祝日「敬老の日」
18	火	全校朝会(水泳指導者への感謝の会)
19	水	読み聞かせ 避難訓練
21	金	1年北農体験学習 4年社会科見学
22	土	平戸市民陸上競技選手権大会(ライブ)
24	月	祝日「秋分の日」振替休日
25	火	縦割り掃除
26	水	読み聞かせ
27	木	6年修学旅行(～28日：佐賀・長崎)

